

わが家の“耐風”チェックシート

(参考：日本損害保険協会「わが家の耐風診断シート」)

いざという時に備えて、わが家の“耐風度”をチェックしてみましょう。

修繕などが必要な場合には、早めに専門業者へ相談のうえ、適切な補修しておくことをお勧めします。

雨戸・ガラス窓等

- Q1 雨戸の付いていない窓がある。
- Q2 網戸や雨戸にゆるみやガタつきがある。
- Q3 窓枠の取り付け部が傷んでいる。
- Q4 窓ガラスを押してみると少しガタつきがある。
- Q5 通風孔や換気扇等の開口部がある。

外壁・内壁

- Q6 外壁に亀裂、割れ、腐れ、反り、変形などの劣化が見られる。
- Q7 内壁に雨がしみ込んだ跡がある。

車庫まわり・その他

- Q8 車の近くに植木鉢・プランター等が置いてある。
- Q9 近くに海や河川がある。
- Q10 屋根付き車庫の支柱の基礎に浮き上がりや隙間がある。または屋根の固定部に緩みがある。

屋根まわり

- Q11 降雨時に雨漏りしたことがある。
- Q12 強風時に異常な風切音が聞こえる。
- Q13 屋根瓦にひび割れ・欠損・ズレ・浮きが見られる。
- Q14 軒先が部分的に垂れ下がっている。
- Q15 屋上タンクの定期点検を行っていない。
- Q16 建築後10年以上たっており、この間点検や修理をしていない。

ベランダ・バルコニー

- Q17 床の止め付けに不良な箇所がある。
- Q18 手すりにゆるみや傷んでいる箇所がある。
- Q19 鉢植えや物干し竿が置いてある。
- Q20 排水口が詰まっている。

診断結果

(チェック数)
0~5

ひとまず**安心**です。合格ラインに達してはいますが油断は禁物です。チェックのついた項目を今一度見直しましょう。

6~10

念のため**見直し**が必要です。災害時の備えは出来ているようですが、十分とは言えません。いざという時のためにもう一度点検を！

11~15

少し**不安・心配**です。今すぐチェックの付いた項目箇所を見直し防災意識を高め、点検を行って下さい。

16~20

至急！家屋の点検・確認を行って下さい。自分自身のみならず、他人にケガをさせるおそれもあります！



※弊社ホームページ「防災と事故対策」(わが家の“耐風”チェック)にも詳しく掲載しています。左記のQRコードより弊社ホームページに直接アクセスできます。

この島の損保。

大同火災海上保険株式会社

本店 〒900-8586 沖縄県那覇市久茂地1丁目12番1号

(ホームページアドレス) <https://www.daidokasai.co.jp/>

○お問い合わせ先

台風に備える防風資材と対策

1. 窓ガラスの対策

- ・窓ガラスは、風圧や飛散物の衝突で壊れることが多く、割れたガラスの破片でけがをする危険性があります。
- ・室内に強風が吹きこむことにより内壁・天井・照明・家具なども損害を被り、被害が拡大します。防風資材の活用で防止・軽減できます。

① アルミ雨戸の設置



- ① アルミ雨戸は、窓に直接設置し飛散物や暴風からガラスを守ることができます。

② 台風用防風スクリーンの設置



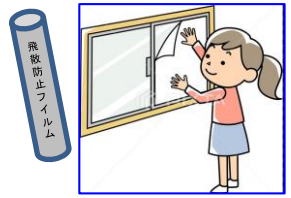
- ② 台風用防風スクリーンは、窓の周囲にアンカー固定し、飛散物や暴風からガラスを守ることができます。

③ ネットの設置



- ③ ネットは、飛散物の衝撃を和らげることで、ガラスを保護し、ガラス破損の防止に効果的です。宮古・八重山地域で広く活用されています。

④ 飛散防止フィルム貼付



- ④ ガラス破損の際に、ガラスの破片が飛散するのを防ぐことができます。ホームセンターなどで購入できます。

2. 室外機の対策

- ・室外機は、屋根・壁の上部などに設置されることが多く、台風の強風をまともに受けます。
- ・建物の角部分は建物中央部分に比べて風速が大きくなり、それだけ風の勢いが強くなります。できるだけ角の部分を避けて設置しましょう。
- ・ワイヤー固定などの対策後、さびによる取付部材の劣化に対する対策・メンテナンスも必要です。

① ワイヤー固定



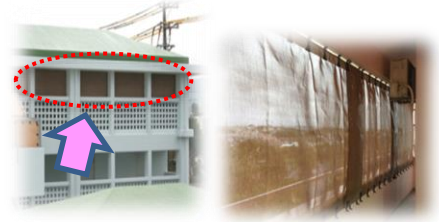
- ① さびにくい金具やワイヤーで固定し倒壊を防いでいます。2か所以上でたわみがないよう固定しています。

② 壁面設置用アングル固定（上下）



- ② アングルで固定し、倒壊被害を防いでいます。壁掛けの場合は、上下の固定が必要です。

③ ベランダ間口への防風スクリーンの設置



- ③ ベランダ間口への台風用防風スクリーン設置により室外機の倒壊・吹き込み損壊を防いでいます。

3. 屋根瓦の対策

- ・屋根瓦は破損に伴い、瓦がはがれる場合があります。二次的被害防止のためにも、漆喰やビスなどしっかりと固定しましょう。

① 漆喰（本瓦葺き）



- ① 漆喰の劣化により屋根瓦がはがれやすくなります。劣化が生じている場合には塗り重ねまたは塗り替えが必要です。

② 屋根瓦のビス固定



- ② 風圧によるめくり上げ防止のため瓦をビスで固定しています。固定状況の確認などメンテナンスが必要です。

③ 屋根瓦のビス固定



- ③ 風圧によるめくり上げ防止のため、側面（けらば）をビスで補強しています。

④ 瓦の隙間のコーキング



- ④ 隙間部分にコーキングを施し、雨水の侵入や風圧による瓦のめくり上げ防止に効果があります。

4. 排水口の対策

屋上排水口が目詰まり防止



枯葉やごみの飛来による目詰り防止のため、排水目皿の高さを網でかさ上げしています。

5. 門扉の対策

アコーディオン型門扉



門扉をたたんだ状態にして、ロープなどで柱に結び固定します。

台風被害の多い箇所ランキング

（参考：2018年台風24号における当社統計資料より）

1位 窓ガラス（窓枠・建具格子・網戸含む）

2位 屋根（本体・躯体）

3位 門扉・ドア・格子戸

4位 室外機

5位 内装

